



屋上菜園・都市の近未来の姿

社会学者、見田宗介（みたそうすけ）氏の近著「現代社会はどこに向かうか」（岩波新書）を読んで、思わずうれしくなりました。見田氏は、日本と世界の青年の価値観が大きく変わってきていることをデータに基づき紹介し、生存の物質的基本条件の確保のための経済成長優先主義や未来の幸福のために今を犠牲（手段）にする生き方から、今を楽しむ、現在に幸福を感じる生き方に価値観が大きく転換していると説明されています。キーワード的にはシンプル化、ナチュラル化、持続可能性、脱商品化…。我田引水になりますが、屋上菜園はまさにこれらのキーワードを具体化しています。成熟社会とは人と人との関係、身体と自然との交流に深い、持続的な幸せを感じることができる、そんな社会ではないでしょうか。

JVEC プロジェクトの動き

1. JVEC栽培マニュアル編集委員会・第1回会議報告

7月20日(金) 午後3時～5時、ハゴロモビル2階で、第1回目の編集会議を持ちました。大きなシートにポストイットでそれぞれの意見、ブレストの中で出てきたアイデアを貼り付けていきました。その結果、マニュアル編集の今後の方向性が見えてきました。

次回8月10日(金)の議題は、全体の項目づくりと屋上菜園の特殊性についてです。 (阿部)



2. 川本町・えごま栽培レポート

先般の西日本豪雨災害で、川本町も被害に遭いました。床上浸水で一時的に空き家へ避難されている方もおられます。幸いにも私の地区は山間のため被害はありませんでした。

しかしその後の酷暑のため、エゴマの生育が止まってしまったかのように。今は竹堆肥と追肥の鶏糞を畝すじに撒き、土寄せをしています。 (柴原)



えごまの畝に竹堆肥を撒いている様子

8月の予定

□北千住ルミネ屋上作業 毎水曜日

1日・8日・15日・22日・29日作業 午前9時～11時

*屋上菜園夏野菜収穫イベント

4日(土)・5日(日) 午後4時～

小玉スイカ、トマト、えごま葉収穫

□遊心「親子一緒に野菜づくり&自然ふれあい教室」

土曜日開催

《12回目》8月4日 午前10時～12時

場所/神田ハゴロモビル(千代田区内神田1-10-8)

□三井住友海上火災 屋上菜園作業 週2回

場所/三井住友海上火災ビル屋上(千代田区神田駿河台3-9)

※庭野、阿部、森川の3人でローテーションを組んで栽培作業継続

□墨田区老人ホーム 栽培管理作業及び指導

指導日 月2回(隔週水曜日開催)

8日・22日 午前9時30分～11時30分

□栽培マニュアル編集委員会

8月10日(金) 午後3時～5時 ハゴロモビル2階



7月の活動報告

遊心さん+JVEC

◇「屋上菜園で親子一緒に野菜づくり&自然ふれあい教室」部会◇

夏の晴れた日の屋上は高温になります。土壌も薄いのでしっかり水やりをする事が大切です。日中に水を撒くと湯だってしまうので、午前の日が当たる前か夕方。晴天が続くと多少の水では土の中までは浸みこみません。そこで支柱に使う棒であちらこちらに穴を作り、水が下側まで浸みこむようにします。

7月14日(土)はピーマンやキュウリなど初物の収穫、まだ植物が成長段階ですから実はあまり大きくせず、早めに収穫することが大切です。スイカやゴーヤの枝を誘引し、トマトの脇芽を取り、風通しを良くするため、枯れかけた枝を切り取りました。最後にスイカやナスに油かすを撒いて終了。

また、子供たちは虫にも興味津々、アリやダンゴムシ、アブラムシをルーペで観察しました。

次回は8月初旬。スイカの収穫ができそうです。(伊藤)



つる科の誘引作業



◇三井住友海上火災(株)屋上菜園部会◇

蕎麦の花満開

駿河台の菜園は現在モニター会員が6区画、JVECが担当している試験区が3区画、JVECが野菜栽培あるいは管理している区画が5区画(えごま、枝豆、スイカを栽培)、蕎麦を栽培している区画が10区画となっています。試験区は来年度のために肥料の内容を変えて栽培しています。違いが段々はっきりしてきました。今後の段取りとしては収穫した蕎麦の刈り取り、乾燥、脱穀、製粉があります。いくらか量が少ないので手作りになりますが、やり方は検討中です。そば粉が出来ればガレットをつくりたいですね。(庭野・阿部)



そばの花が咲きました

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇

夏野菜最盛期

今月の北千住ルミネでは、スイカとトウモロコシの人工授粉を中心に作業を行いました。

スイカの人工授粉は、雄花と雌花を直接こすり合わせるようにして行います。スイカは花の下に膨らみがあるかどうかで雄花と雌花を見分けることができるので、まず膨らみのない雄花を摘んで花びらを取り、次にそれを膨らみのある雌花に優しく慎重に雌花にこすり合わせるようにして人工授粉させます。その結果7月下旬の時点で約40個の実がついています。一方のトウモロコシは必ず先端に雄花が付く性質があるので、トウモロコシ全体を揺らし花粉を飛散させることで受粉を促します。トウモロコシも20本ほど収穫できそうです。一口に人工授粉と言ってもこのように大きな違いがありますが、いずれも収穫を確実にするためには重要な作業です。

また、今月はシシトウやピーマンの収穫なども行いました。(藤掛)



スイカの雌花



夏野菜の収穫

◇墨田区老人ホーム部会◇

第1回目実施

7月11日(水)午前9時半~11時半、第1回目の栽培作業とセミナーを開催しました。押上駅から徒歩15分、ケアハウスこまち墨田館に到着後、早速、屋上に上がり野菜の様子を確認し作業開始。また、入居者の皆さんが今日収穫される野菜に目星を付けました。1階の食堂で体操をした後、入居者の半数の10名前後の皆さんが屋上菜園に来られ、ナス、トマト、キュウリ、サニーレタス、ピーマン、シシトウを収穫。1階の食堂で第1回目のセミナー。「野菜から身体と心に元気を」のお話をした後、阿部、庭野が自己紹介。質疑応答の時間を持った後、屋上に上がり栽培管理作業を行いました。入居者で作業を手伝ってくださる方、見学される方と和気あいあいのひと時(約45分)でした。(阿部)



それぞれにすくすく育つ夏野菜

☆「屋上菜園物語」もアップされています。

\\ JVECホームページは毎月更新されています。会員の皆様は是非ご覧ください。→<https://www.jvec.jp/>